

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年10月07日

計画の名称	つがる市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）													
計画の期間	令和06年度 ～ 令和07年度（2年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	つがる市													
計画の目標	浸水被害を緊急かつ効率的に軽減するため内水ハザードマップを作成し、内水による浸水被害の最小限化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		32	A	32	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初		R7末
1	内水ハザードマップの作成・公表により、浸水が想定される区域において、浸水区域及び避難場所の認知割合を0%（令和6年度）から100%（令和7年度）に向上。 浸水想定区域内の人が想定区域及び避難場所を認知している割合 浸水区域及び避難場所の認知人口 / 浸水想定区域人口 / 100	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

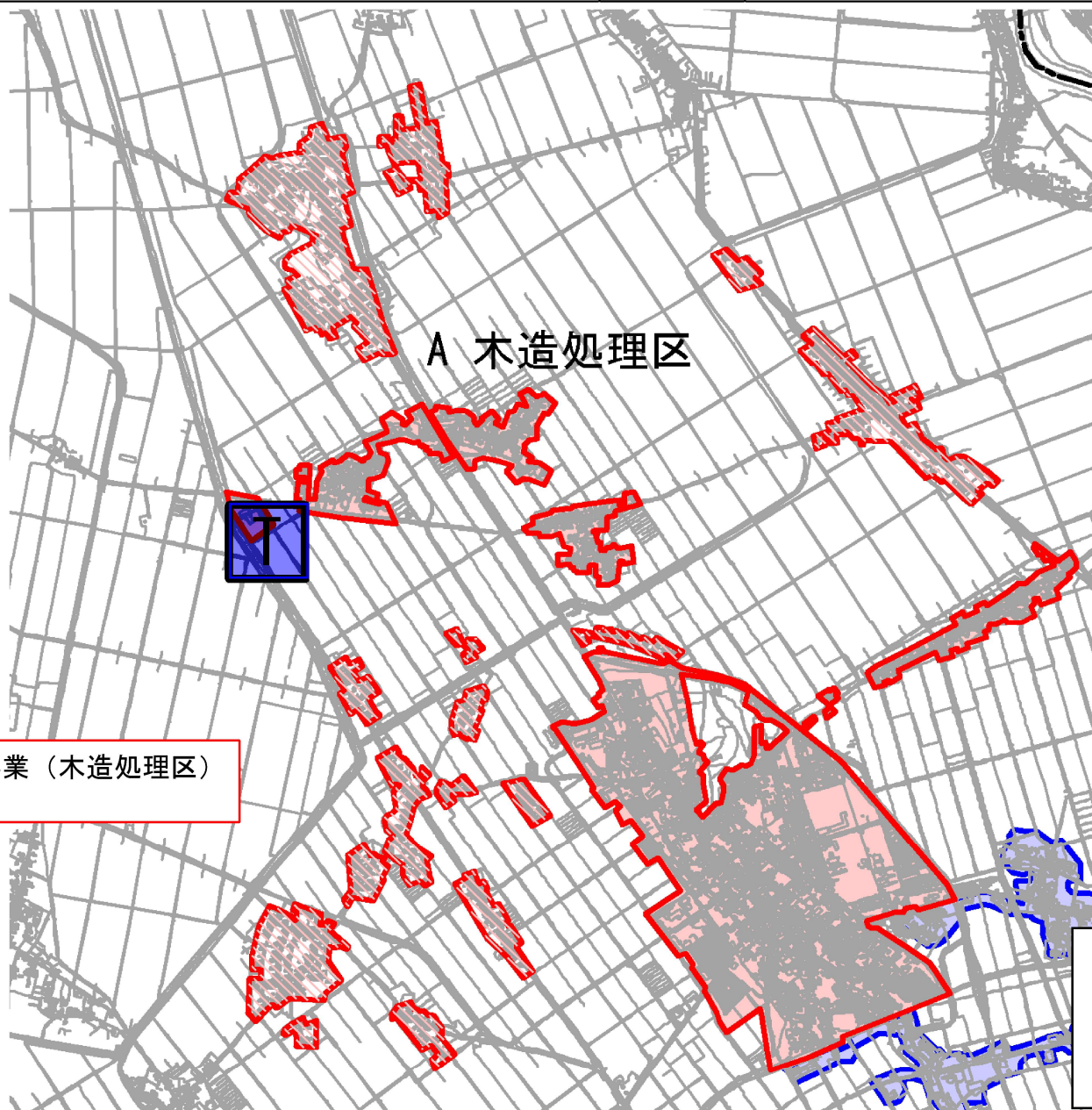
A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	つがる市	直接	つがる市	－	－	浸水対策事業	内水浸水想定区域図の作成等	つがる市	■	■				32		－	
											小計						32			
											合計						32			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
つがる市建設部下水道課において、数値目標や事業効果の現況について評価を行った。	令和8年10月
	公表の方法
	つがる市ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	内水ハザードマップを作成・公表し、公共下水道区域内のすべての世帯へ配布が完了したため、浸水想定区域内のすべての住人が浸水区域及び避難場所の認知をした。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
本計画により、内水ハザードマップの作成・公表が完了し、下水道整備も完了したため、今後はストックマネジメント計画に基づき、管路やマンホールポンプの更新を引き続き行っていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水想定区域及び避難場所の認知割合		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	つがる市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）		
計画の期間	令和6年度 ～ 令和7年度（2年間）	交付対象	つがる市（木造地区）



A07-001 浸水対策事業（木造処理区）
事業費 32百万円

凡 例

	全体計画図
	事業計画区域
	木造浄化センター

計画の名称	つがる市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）		
計画の期間	令和6年度 ～ 令和7年度（2年間）	交付対象	つがる市（富范地区）

